



奨学金が より使いやすく

平成29年度の奨学生を募集

来年度の奨学金の申請が、これまでの4月から1月に、振り込み開始は6月から5月に早まります。

問い合わせ 学校教育課（市庁舎8階、☎65・4203）

市では、十分な能力があるにもかかわらず、経済的な理由で修学が困難な学生に、無利子で奨学金を貸与しています。詳細は問い合わせください。

より使いやすい制度にするために、平成29年度から、奨学金の振り込み開始を早めます。

奨学金の振り込み開始を 5月に早めます

今年度は6月から振り込んでい

ましたが、入学直後などの年度初めは家計の支出が多く、できるだけ早い時期に受け取りたい、という声も寄せられていました。

申請期間 1月4日(水)～2月10日(金)
申請窓口 申請書類を直接、学校教育課に提出してください。申請に必要な様式は窓口で受け取るか、市ホームページから印刷してください。

まずは1月の申請を 忘れずに

制度の見直しにより、例年4月に行っていた申請の受け付けを1月に開始します。奨学金の貸与を希望する人は、忘れずに申請してください。

帯広市奨学金制度の概要

申請できる人

帯広市に住民登録している人の子どもで、次の要件をすべて満たす人

- ①平成29年4月に大学・専門学校・高校に在学している予定
- ②経済的理由で修学が難しい（所得の上限額があります）
- ③学業が優秀で身体健全

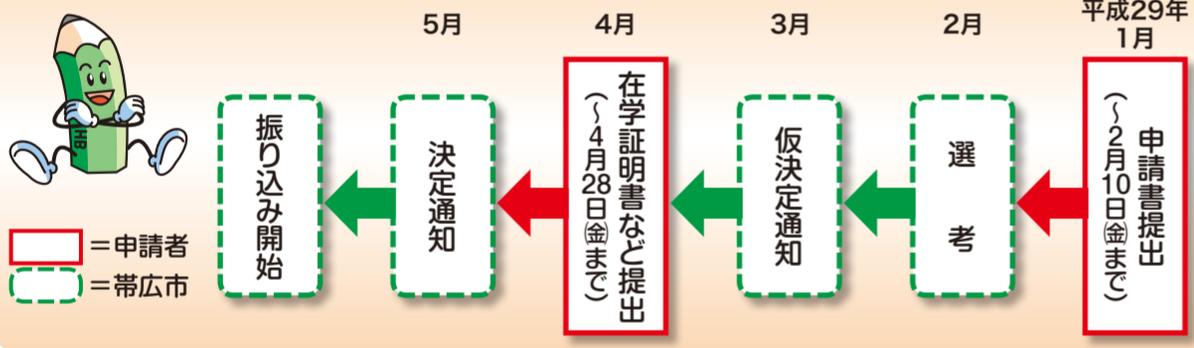


区分	貸付月額
大学	5万円、3万円、2万円のいずれか
専門学校	3万円
高校	7000円

※各区分の定員については広報おびひろ1月号でお知らせします。

帯広市 奨学金

平成29年度 奨学金制度スケジュール



進学先がまだ決まってい

ないのですが…申請時期の1月時点で進学先がまだ決まっていない場合は、進学予定として申請することができません。

選考の結果、奨学生にふさわしいと認められた人へ、3月に「仮決定通知」を送付します。

4月に在学証明書などを提出してもらい、進学した学校を確認の上、奨学生を決定します。

なお、2年生からでも申請が可能です。



忙しい年末も 火災を防ぐために

消しましょうその火その時その場所で

問い合わせ 帯広消防署指導課（西6南6、☎26・9131）

年末に近づき、何かと忙しくなるこの時期。不注意によるこんろの消し忘れ、暖房の使用頻度の増加などで、火災が起きやすくなります。一人ひとりが防火の意識をしっかりと持ち、火災の発生と悲惨な焼死事故を防ぎましょう。

出火原因の上位は 放火・たばこ・電気製品
今年1月～10月に市内で起きた火災の件数は47件で、出火原因の上位は、放火（疑い含む）が7件、たばこが6件、電気製品本体や配線などからの出火が4件でした。

必ず住宅用火災警報器を設置

住宅用火災警報器の設置が義務になった平成20年から、市内の警報器を設置している住宅で、火災による死者は出ていません。また、警報器の普及で火災が早く発見さ

半年に1度は作動の確認を

警報器は、ひもを引いたり、ボタンを押して作動を確認できます。半年に1度は電池切れや故障がないか必ず確認してください。

警報器を設置する場所が分からないなど困ったときは、帯広消防署指導課に相談してください。



警報器の設置を！

着衣着火に注意！

こんろやストーブなどから着ている服に火が燃え移る「着衣着火」が、市内では平成28年1月～10月に3件ありました。こんろの奥の物を取るときや、仏壇のろうそくの近くなどでは服の袖や裾に着火しないよう注意しましょう。

服に火がついてしまったら…

- ・すぐに水をかぶる
 - ・地面に転がって火を押し付ける
- ※走り回ると燃え上がることがあるため絶対に走らない



イラスト出典：東京都生活文化局 東京くらしねっと